

DevOpsの「実機テスト工程」を加速！

# 評価サイクル自動化ソリューション

「CI/CTソリューション」&「ハイパーバイザもVMも一画面で統合可視化」 

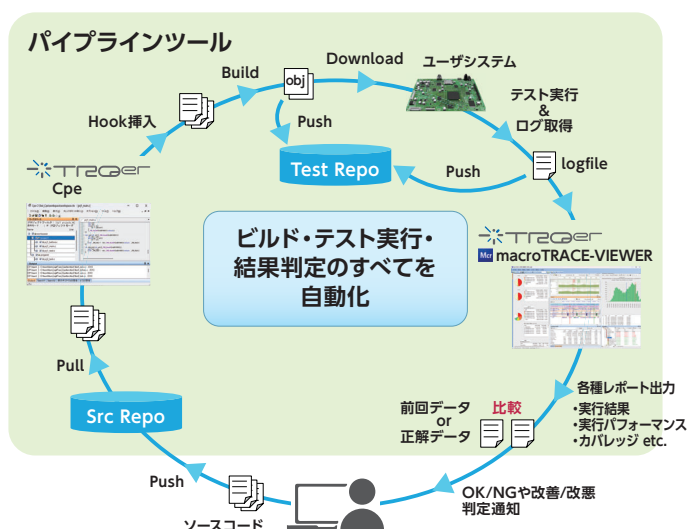
開発におけるビルド～評価～検証の一連のサイクルをGitLab×TRQer(動的解析ツール)で自動化。繰り返し作業を時短化するとともに、テスト品質や性能の維持にも役立ちます。

## 継続的インテグレーション×実機自動テスト

参考出展

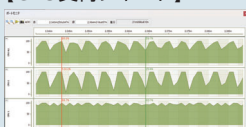
- ✓ DevOpsの一部として運用：  
ソースpush→ビルド・評価・分析を自動実行
- ✓ 実機テストログを自動解析：  
テスト結果・カバレッジ・異常傾向などをレポート化
- ✓ CI/CTパイプラインと連携：  
テスト作業と結果の一貫性を確保
- ✓ テストシナリオ更新時の網羅状況分析：  
前回値からの悪化や抜け漏れを即時検知

「テストの見える化」と「分析の自動化」で、  
実機開発の時間とコストを大幅削減！

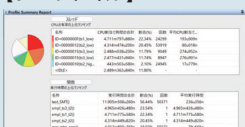


判定NGの詳細確認は視覚化ツールで原因調査も容易になります。

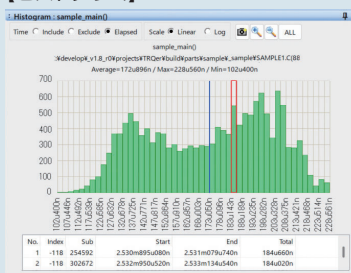
【CPU負荷チャート】



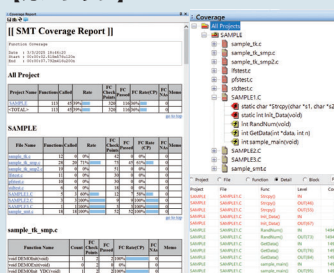
【プロファイル】



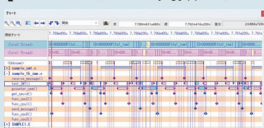
【ヒストグラム】



【カバレッジ】



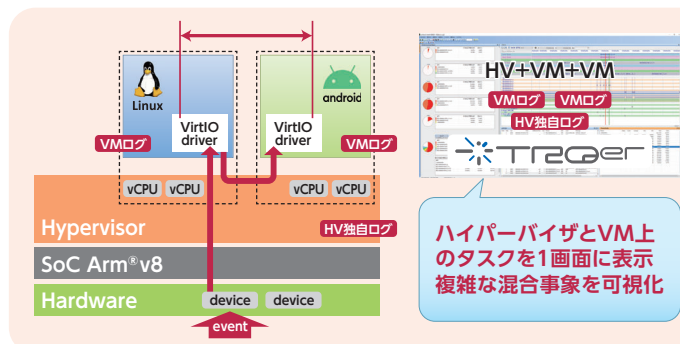
【タスクチャート・関数チャート】



【指定区間測定】



## ハイパーバイザの「見える化」する 映像の乱れ・音声の途切れ…その原因はVM間の「見える化」競合



コックピットの「メーター」や「IVI」の機能統合するドメイン・コントローラーではハイパーバイザ上のVMにアプリケーションが分散配置しています。

画像・音声処理の競合に対して、ハイパーバイザからはVMの稼働状況を把握できるが内部は見え、Guest VMから内部は見えるが、競合を把握できない事で問題の切り分けが複雑化しています。TRQerは、両者を一元可視化する事で、問題解析と開発効率を大幅に向上させます。